

本場アメリカからやってくる至高のエンタテインメント。
懐かしの名作からハリウッド最新作まで、映像とともに感動がよみがえる！

ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

Hollywood Festival Orchestra

指揮:ロイド・バトラー ヴォーカル:ピリー・キング



2021.
1月



最近、クラシック音楽界の行方を考えることが増えました。私たちの携わるクラシック音楽は、特に今の世の中においてはユニークな存在で、世界中のあらゆる事象がスピード化し効率化により重視されている中、例えばオーケストラのメンバーは減ることはないし楽曲が短くなることはありません(速い演奏をする指揮者が増えているのは時代が反映されていると考えます)。つまり、必要な楽器と奏者がそろい、一定の時間を確保しないとコンサートは成立しないのですが、毎日恐ろしい速さでキーボードをたたき、画面をクリックしたりスワイプしたりタップしていいねを押したり拡散したりしてせわしなく物事が進んでいく現代においては、真逆の性質を持っていると言っても良いでしょう。こうした伝統文化を維持していくためには、人々にそれを樂しめる十分な時間と経済的な余裕、そして気持ちのゆとりが必要で、しかしながら、私が十七年前にこの業界に入った時と今とは公演の数が比べ物にならないほど少なくなっています。特に地方の会館の予算が当時と比べて激減すると共に、指定管理者制度の弊害により専門性を有する職員を育てることが出来ず、長期的視野に基づいて地域の文化振興を考え実践する機能を失ってしまった自治体が多く、たいへん嘆かわしい事態と考えています。

もちろん悪いことばかりではありません。最近では地方のテレビ局の営業の時によく担当者の方からお話しを伺うのですが、放送収入が全体的に減っていることから事業収入でそれをカバーする必要がある、事業を積極的に行う放送局が増えてきました。私たちのアーティストを電波で宣伝してくださるメリットは極めて大きいですし、お付き合いに際しても、放送局の担当者の方々は地方のエリートでかつ従業員教育もしっかり受けているジェントルな方が多く、向上心のある立派な社会人の方々と一緒に仕事することも得られることも大きいです。

こうして私たちを取り巻く環境が刻々と変わる中、私たち自身も変わらなければなりません。アーティストの代理人として、時代の変化を読み取る必要を徹底的に研究した上で、何を提供すべきか、これまで以上に工夫と努力が必要で、流転する現代において、今も変わらぬ輝きを放つクラシック音楽をどのように普及させてゆか。喫緊の課題とも言えるでしょう。

私が社会人になった時に当時の上司から教わった言葉を思い出します。「健康で文化的な最低限度の生活は憲法で保障されている私たちの権利。健康であるだけでは不十分で、音楽や文化が人々の生活に必ずなくてはならない。オペラの「アリア」の語源は「空気」とも言われていますが、音楽や芸術が空気のように当たり前に周囲にあふれる環境を創り出し、人々の生活に潤いを提供することが私たち音楽に携わる者にとっての使命と、あらためて考えています。

2019年9月27日
株式会社テンポプリモ代表取締役
中村聡武



CD 今月のおすすめ CD

ラドミル・エリシュカ指揮 札幌交響楽団 チャイコフスキー:交響曲第5番

今月、惜しくも88歳で亡くなったチェコの名指揮者ラドミル・エリシュカ。2004年に初来日して以来、N響や名フィル、大フィル、そして札幌とは首席指揮者として長年に渡り名演の数々を生み出しました。今回、紹介するのはその中の一つ、引退直前の2017年に演奏されたチャイコフスキーの交響曲5番。チェコの名匠による札幌とのチャイコフスキー・シリーズの最後を飾った本公演。マタチッチャスヴェトラノフなど、日本のオケによる名演は数多くある中、マエストロの人柄がにじみ出ているかのような、非常に格調高く丁寧で温かみを感じるこの演奏も間違いなく名盤の一つ。先日、来日したボリャンスキー&シンフォニック・カペレとの比較と同時に、亡き名匠へ思いを馳せてみては如何でしょうか。(Pastier レーベル) DQC1581



テンポプリモ宮嶋さんの 夏休み

暑い日が続いた今年の夏ですが、皆様は如何過ごされましたでしょうか。国内や海外へ旅行されたり、或いは、ご実家に行かれたりといろいろかと思えます。今回、テンポプリモのマネージャー、宮嶋の夏休みを紹介します。

8月下旬ースイス・ルツェルンにて。
スイスのルツェルンに音楽祭を聴きに行きました。今回、安い経由便を使用したため7泊10日で旅行。うち、演奏会は6夜聴きに行くというなかなか強行軍のプランでした。

メインは、ルツェルン音楽祭でのベルリン・フィルの演奏会で、就任間もないキリル・ペトレンコとベルリン・フィルによるベートーヴェンの第九公演とチャイコフスキー交響曲第5番公演。ここ最近でも特に素晴らしい演奏で両日ともスタンディング・オベーションで喝采の嵐！インテンポで颯爽と駆け抜けていくのに、こんなにも内容が充実し表現が溢れた演奏は聴いたことがありません。

しかし、ホテルの出費を少しでも抑えるべく、今回ホテルをアパートメントタイプの安いところにしたところ、なんとダニ?のベッドに遭遇。初日の夜はほとんど寝られないなど、初めて痒みに悩まされることに。まさか、ベルリン・フィルの演奏会を聴きに行ったら、ホテルでダニに悩まされるとは…。症状がよく分からない中、目に見える形で症状が出て来たのは帰国中の飛行機。帰国後も悩まされたので、病院へ行ったところ、あつという間に良くなりました。

アジアだけでなく、ヨーロッパでもまだまだダニやトコジラミの被害はあるみたいです。皆さんもご旅行の際はお気をつけください。



編集後記

本年度から「部会」などいろいろなことに取り組み、テンポプリモの新しい形を作っていますが、先月末に夏の掃除を実施。いろいろなものを処分したり、整理したり、綺麗にしましたが、そんな中で当時音楽界を揺るがした、あの佐村河内作曲(として発売された)作品のCDを発掘！5年前に大きな話題となりましたが、皆様覚えてますか？当時はまだ大学生だった自分は、そのきっかけとなった記事の執筆者である野口剛夫先生とフルトヴェングラー関係の団体で親しくさせて頂いていたので、懐かしい面もありつつ、中には苦い思い出という方も多くいらっしゃると思いますが、今はどうしているのでしょうか。

当時はドイツへの留学前だった私。ゼミの先生や部長をしていた合唱部のコーチにも留学のことを相談せずに申請し決まったため、それはそれは驚かされたことでした。ドイツで散々音楽三昧だった私もこの数年で大学生から社会人になり、まさか音楽業界で働いているとは当時は思ってもみなかったもので、きっと同じように驚くことでしょう！変わっていないのは、ドイツの食生活を経てもなぜか50kgを超えない体重ぐらいですかね。皆さんは、この5年間でどんな変化がありましたか？(H.M)

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co. Ltd. Management Office
〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階
TEL: 03-3524-1221 FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprime.co.jp
www.tempoprime.co.jp

経営理念 株式会社テンポプリモは、全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念と致します。



第3回
ニシエヒガシエ
全国ホール探訪
大阪 ザ・シンフォニーホール

大阪福島駅至近の、大阪を代表するコンサートホール、ザ・シンフォニーホール。1982年の開館で、日本で初めてのクラシック専用ホールです。「残響2秒」にこだわる抜群の音響には、帝王カラヤンも「世界一」とお墨付きを与えたほど。2階の楽屋エリアに入ると、小さなメッセージカードが。そこには、ようこそ！という歓迎と最高の演奏ができますよ！という気持ちがこもっています。本年は年末恒例となった同ホール主催のジルバスター・コンサートと、ニューイヤー・コンサートに、弊社が招聘するウクライナの名門、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団が出演します。カウントダウンはキエフ国立フィルによる「キエフの大門」。令和初めての年末は、これで決まり！



李さんの明日役に立つ中国語~音楽用語編~

日本語にとっても、中国語にとっても、クラシック音楽にまつわる単語は外国から来た言葉。漢字で表記する場合、日本語と中国語は殆ど同じ漢字を使いますが、たまには違う漢字が使われるケースも。

第2回 「大調」「小調」
マネージャー 李育安 (台湾出身)

では、いきなりクイズですが、「大調」と「小調」は、日本語ではどういう意味でしょうか。
答えは「長調」と「短調」です。これはイメージつきやすいかもしれませんが。また、日本語の調号における「変」(b)と「嬰」(#)は、中国語では「降」と「升」で呼びます。中国語の「降D大調」は「変二長調」、また「升C小調」は「嬰ハ短調」の意味になります。
短調と小調、あなたはどれが好きですか。(あれ?なんか変?)



Recommended Artist Vol.4

今月のイチオシアーティスト

ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団



指揮:トレヴァー・ピノック
ソリスト:木嶋真優(ヴァイオリン)/モナ・飛鳥(ピアノ)

モーツァルトの故郷から贈られる最高の音楽。本家本元のオーケストラと大物指揮者が来日。

2020年の夏、東京はオリンピックの開催地としてスポーツの祭典が熱く盛り上がるでしょう。一方、遥かなヨーロッパではザルツブルク音楽祭が100周年を迎えます。「音楽の都」

ウィーンから電車で3時間ほど離れた山の中で、静かに佇む中世の町ザルツブルクは、偉大な音楽家モーツァルト生誕の地であり、クラシック音楽の聖地として人々のあこがれとなっています。ここでは毎年夏に世界最高峰の音楽祭が開催され、モーツァルトの音楽を含む多彩なプログラムとともに毎日朝から晩まで、祝祭劇場やコンサートホールにて一流の演奏家によるパフォーマンスが繰り広げられています。モーツァルトを慕う人々は、この唯一無二の天才の息づかいに少しでも近づこうと、世界各地からこの町を訪れて、音楽祭の中で毎日美しい音楽に酔いしれます。

日本でも、いつかザルツブルクで「本物のモーツァルト」を聴きたいと思う人は少なくないでしょう。しかし、現実にはなかなかハードルが高く、夢が叶う人はほんの一握り。

嬉しいことに、2020年の秋、ザルツブルクに本拠地を置く「ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団」が2年ぶりに来日します。この名門楽団は、モーツァルト没後50年の1841年に、未亡人コンスタンツェによる援助のもと、二人の息子の協力も加わって設立されたので、まさに「モーツァルト本家本元のオーケストラ」。音楽監督のリッカルド・ミナーシ他、名高い指揮者および一流のソリストたちと共演を重ねて、ヨーロッパを中心に世界各国でコンサートを行っているほか、数々のCD録音を生み出してきました。誰も真似できないザルツブルクならではの「モーツァルトのスタイル」を熟知している演奏家による本場の演奏が生で聴けるのは、この上無い喜びです。

今回の来日では、大物指揮者のトレヴァー・ピノックを迎えて、モーツァルトの魅力をとっぴり楽しめる3つのプログラムをお届けします。ピノックはイギリスの名門古楽オーケストラ「イングリッシュ・コンサート」の創立者であり、指揮およびチェンバロ演奏両方で活躍している大音楽家。バロック音楽、およびモーツァルトを中心とした古典派音楽の演奏において高い評価を得ており、数々の名門オーケストラに頻りに招かれています。ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の指揮者として初来日を果たす今回、日本のクラシック音楽の愛好家にとっては心躍るニュースになるでしょう。



指揮:トレヴァー・ピノック

2020年日本公演プログラム

後期三大交響曲

モーツァルトは1788年の夏に3つの交響曲を一気に書き上げました。華麗な序奏で幕を開ける第39番、悲劇的な短調の主題で最も有名な第40番、そして最後の交響曲にして最高傑作の第41番「ジュピター」。偉大な作曲家晩年の円熟した傑作を一つのコンサートでお届けします。ヨーロッパの有名な都市に思いを馳せながら偉大な作曲家と一緒に旅を楽しむような、楽しいプログラムです。

旅するモーツァルト

モーツァルトは6歳からヨーロッパ各地へ演奏旅行に出かけています。交響曲31番「パリ」から、第36番「リンツ」、第38番「プラハ」、そして最後に宇宙に飛ぶ第41番「ジュピター」から組み合わせた3つの交響曲を一つのコンサートでお届けします。ヨーロッパの有名な都市に思いを馳せながら偉大な作曲家と一緒に旅を楽しむような、楽しいプログラムです。

愛される協奏曲と輝く序曲

モーツァルトの協奏曲は「神の贈り物」としか言えません。稀代の才能が輝きを放ち、散りばめられた愛らしいメロディが宝石のように人々の心を惹きつけます。ヴァイオリニストの木嶋真優、またはピアノのモナ・飛鳥がソリストを務め、華を添えます。人気オペラ序曲「フィガロの結婚」や「ドン・ジョヴァンニ」が華やかにコンサートの幕を開けます。

Vol.3

今月のお役立ち情報

2020年はオリンピック・イヤーであると同時に、聖聖ベートーヴェンの生誕250周年ということでも、多くの演奏会が計画されています。一方でベートーヴェンだけでなく、他の作曲家の曲も取り上げたいところだと思います。そこで、今回は2020年にメモリアルイヤーを迎える作曲家を紹介致します。

生誕250周年

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770 - 1827年) Ludwig van Beethoven 言わずと知れた音楽史上極めて重要な作曲家の一人。交響曲第3番「英雄」や交響曲第5番「運命」、のどめカンタービレで有名になった7番、もはや年末の風物詩としてヨーロッパでも演奏される交響曲第9番「合唱付」など有名な曲ぞろい。

【代表作品】 交響曲第9番「合唱付」 ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 ピアノソナタ第8番「悲愴」 ヴァイオリンソナタ第5番「春」 など

没後125年

フランス・フォン・シュペ(1819 - 1895年) Franz von Suppé オーストリア出身の作曲家で、今年が生誕200周年でもあった。オペレッタや序曲が非常に有名で「ウィンナ・オペレッタの父」と呼ばれることも。30のオペレッタやバレエ音楽など多くの舞台音楽を作曲し、日本では大正時代に浅草オペラなどで紹介された。「軽騎兵」序曲はファミリー向け演奏会でも度々演奏されており、演奏会を盛り上げてくれることは間違いない。

【代表作品】 喜歌劇「軽騎兵」序曲 喜歌劇「詩人と農夫」序曲

没後100年

マックス・ブルッフ(1838 - 1920年) Max Bruch ドイツ出身の作曲家で、山田耕柝の先生としても知られ、指揮者としても活躍した。親しみやすく魅力的な旋律に溢れた曲が多く、ヴァイオリン協奏曲第1番は多くのヴァイオリニストが好んで取り上げられている。チャイコフスキーやメンデルスゾーンなどとはまた違うロマン派の名曲。

【代表作品】 ヴァイオリン協奏曲第1番 ヴァイオリンと管弦楽のための「スコットランド幻想曲」 チェロと管弦楽のための「コル・ニドライ」

生誕125年

カール・オルフ(1895 - 1982) Carl Orff ドイツ・ミュンヘン出身の作曲家。日本では、合唱やソリスト、大編成オーケストラ付きの作品「カルミナ・ブラーナ」のみ知られており目にする機会も多いが、他にも数多くの舞台作品などを作曲している。実は、ドイツで日本の芸術が注目された頃に歌舞伎「寺子屋」を素材としたオペラ「犠牲」を最初のオペラ作品として作曲していたりする。

【代表作品】 カンタータ「カルミナ・ブラーナ」

その他にも、昨年生誕100年を迎えた指揮者レナード・バーンスタインが没後30年である他、アメリカを代表する作曲家の一人アーロン・コープランドが生誕120年・没後30年だったりと、意外とメモリアルイヤーの作曲家が多い2020年。ぜひこの機会に、プログラムのアクセントに組み入れてみてはいかがでしょうか。

テンポプリモ 2020年度下半期ラインナップ特選!

2020年の東京オリンピック。パラリンピックが終わって世の中全体が「兵どもが夢のあと」のムードになるタイミングでも、私たちがテンポプリモは活発に招聘事業を行って日本を盛り上げます! 2020年10月は世界最高のアカペラグループ「ザ・キングズ・シンガーズ」が来日。11-12月は当年度の目玉公演、名門「ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団」を招聘、テレビでも人気上昇中のヴァイオリニスト木嶋真優、ピアノのモナ・飛鳥との全国ツアーを行います。2021年1月には、各地ソールドアウト続出、本場アメリカからやってくる「ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ」が2年ぶりのツアー、またシベリウスが設立した世界最高の男声合唱団「ヘルシンキ大学男声合唱団」が東京都交響楽団との共演を含む全国ツアーを行うなど大型公演が次々に開催されます。



ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ



ヘルシンキ大学男声合唱団



木嶋真優 (ザルツブルク・モーツァルテウム管 ソリスト)



ザ・キングズ・シンガーズ

次年度の弊社企画

オーケストラ

- 6月 ボン・ベートーヴェン交響楽団
11-12月 ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団

エンターテインメント

- 6-7月 トリニティ・アイリッシュ・ダンス
2021年1月 ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

室内楽

- 6月 エスメ弦楽四重奏団
ベルリン・フィル12人のチェリストたち
10-11月 ヤボルカイ兄弟(ヴァイオリン&チェロ)
ウィーン・モーツァルトハウス弦楽四重奏団

ソリスト

- 4月 ドミトリー・マスレーエフ(ピアノ)
5月 イヴリー・ギトリス(ヴァイオリン)
6月 ヴァハン・マルディロシアン(ピアノ)
9月 ジュリアン・ラクリン(ヴァイオリン)
10月 サラ・チャン(ヴァイオリン)

- 10月 アレクサンドル・ラム(チェロ)
11月 ジャズミン・チェイ(フルート)
ソフィア・キプルスカヤ(ハープ)
コーラス
4-5月 ララ・ソモス
7月 アウディ・ユージェント合唱団
10月 ザ・キングズ・シンガーズ
2021年1月 ヘルシンキ大学男声合唱団

指揮者

- ヴァレリー・ボリャンスキー
ブラムウェル・トーヴェイ
シズオ・ヅクワハラ
ニコライ・ジャジュラ
ジュアン・レイサム=ケーニッ
クリスティアン・ラクリン
ライアン・バンクロフト
マイケル・シール
フレデリック・シャスラン

邦人企画

- ららら♪クラシックコンサート
NHK交響楽団メンバーによる室内オーケストラ
N響メンバーが贈るファミリーコンサート
川島成道ヴァイオリン・リサイタル
横浜シムフォニエッタ(指揮:山田和樹)
假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」
みんなのうたコンサート
デーモン閣下が贈る「幽玄悪魔」「邦楽維新Collaboration」
言の葉コンサート「尾上松也・竜馬がゆく」
坂東玉三郎トークショー



坂東玉三郎/デーモン閣下

速報!



シズオ・ヅクワハラ

☆シズオ・ヅクワハラが、ロシアのウラジオストク・マリインスキー劇場の首席客演指揮者に就任することが発表されました!

弊社アーティスタのシズオ・ヅクワハラは、第4回シヨルティ国際指揮者コンクールで優勝。PMFにてゲルギエフのアシスタント・コンダクターを務めた他、ヨーロッパや日本の主要なオーケストラに客演し、アメリカのオーガスタ交響楽団の音楽監督も務めました。ウラジオストク・マリインスキー劇場には2018年から度々客演し、観客からの高い評価と楽団員からの信頼を得てきた結果、今回の就任に繋がりました。ゲルギエフからの信頼も厚く、さらなる活躍が期待されるマエストロに、どうぞご注目ください。

☆ライアン・バンクロフトが2020年9月からイギリスのBBCウェールズ・ナショナル管弦楽団の首席指揮者に就任することが発表されました! 弊社アーティスタのバンクロフトは、1990年アメリカ出身。スコットランドとアムステルダムなどで学び、学生時代からイギリスやオランダ、チェコなどの著名なオーケストラを指揮。2018年にニコライ・クルコ国際指揮者コンクールで優勝。その後、北欧やヨーロッパのオーケストラに客演してきました。BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団とは2018年から客演を何度か行い、高い評価を得た結果、次期首席指揮者の就任に繋がりました。弱冠29歳、若きマエストロのさらなる活躍に、ぜひご注目ください。



ライアン・バンクロフト

Tour Report ツアーレポート

ヴァレリー・ボリャンスキー指揮 ロシア国立交響楽団 《シンフォニック・カペレ》 2019年7月



2019年の日本ツアーは、東京、神奈川、名古屋、山口、福岡、大阪、福岡を2週間で10公演というスケジューリングで、2015年に絶賛の嵐を演出した「チャイコフスキー三交響曲」を始め、ロシア人作曲家の名曲を10曲連続で聴くという企画では、まさにロシアオーケストラとしての面目躍如たる演奏。中にはフランチェスカ・ダ・リミニなど聴き慣れない曲もありながら、抜群の説得力と解釈で聴く者の心持ちを豊かにしてしまふ巨匠指揮者ボリャンスキーの実力を目の当たりにしました。同楽団と同じ組織内にある合唱団の指揮者も務めるマエストロ。合唱のようにバランスの取れたオーケストラの音は、爆音でも決して耳障りになることがありません。尽きることないサウンドへのこだわりと音楽に対する敬意の念は、「音楽の本質」について問いかけてくる深い想いを堪えています。本年12月には九州交響楽団との共演が控え、日本のオーケストラの客演を初めて果たします。さらなる高みへボリャンスキーの挑戦は続きます。